

平成23年度 決算説明書／事務事業評価シート

前年度課室名	建設課
課 名	建設課

予算	款	項	目	決算書
	8	2	3	178 頁

目 名
道路新設改良費

事務事業名称
道路橋梁新設事業

1. 概要

目的	地域の拠点性を高め、居住地から各生活拠点や中心部へ快適で安全な移動や歩行ができるように整備する	対象	市民全般
事業概要	■ 国(国土交通省)の補助を受け市道の改良工事を実施 「社会資本整備総合交付金」「道整備交付金(H22繰越)」 ・市道清水線(清川町)、市道上小坂中小坂線(三重町)、市道中原河屋線(大野町)、市道牛首線(大野町)、市道赤嶺金田菅生線(三重町)、市道浅水牟礼線(三重町)、市道南部幹線(朝地町)、市道久原柳瀬伏野新田線(三重・清川町)、市道神松線(大野町)、市道久知良松谷線(三重町) ■ 国(総務省)の交付金を受け市道の改良工事を実施 「きめ細かな交付金事業(H22繰越)」 ・市道新殿長峰線(千歳町)、市道赤嶺金田菅生線(三重町)、市道滞迫湯ノ迫線(緒方町)、市道南部幹線流末水路(朝地町)		

臨／経	事業名	事業内容(主な経費等)	予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財源内訳				評価
					国・県支出金	市債	その他	一般	
臨時	市道清水線道路改良事業(H24完了予定)	改良舗装L=460.0m W=7.0m 工事請負費	83,917	81,063	52,686	26,500		1,877	1
臨時	市道上小坂中小坂線道路改良事業(H23完了)	橋梁上部工L=35.0m 舗装L=203.0m W=7.0m 工事請負費	68,200	68,053	44,234	22,600		1,219	1
臨時	市道中原河屋線道路改良事業(H24完了予定)	改良舗装L=1008.0m W=7.0m 工事請負費	284,000	218,606	112,307	100,900	1,756	3,643	1
臨時	市道牛首線道路改良事業(大原工区)	改良舗装L=580.0m W=7.0m 工事請負費	51,500	51,058	33,187	16,900	971		3
臨時	市道牛首線道路改良事業(矢田工区)	測量設計・用地補償 L=100.0m W=7.0m 委託料	45,500	25,368	16,489	8,400	479		1
臨時	市道赤嶺金田菅生線道路改良事業(菅生工区)	改良舗装L=100.0m W=5.0m 工事請負費	34,552	21,436	13,933			7,503	1
臨時	市道浅水牟礼線道路改良事業	改良L=300.0m W=9.75m 工事請負費	129,450	33,174	21,563	11,000		611	3
臨時	市道南部幹線道路改良事業	改良舗装L=190.0m W=7.0m 工事請負費	45,700	45,692	29,700	15,100		892	3
臨時	市道久原柳瀬・伏野新田線道路改良事業	測量設計 L=1920.0m W=5.0m 委託料	6,700	6,658	4,327	2,200		131	3
臨時	市道神松線舗装補修事業	舗装L=460.0m W=7.0m 工事請負費	20,400	20,340	13,000			7,340	1
臨時	市道久知良松谷線道路改良事業(H23完了)	改良舗装L=234.0m W=9.25m 工事請負費	114,189	113,037	56,518	53,600		2,919	1
臨時	市道新殿長峰線道路改良事業(H23完了)	改良舗装L=94.0m W=5.0m 工事請負費	16,700	16,678	15,167			1,511	1
臨時	市道赤嶺金田菅生線道路改良事業(赤嶺工区)H23完了	改良舗装L=209.0m W=7.0m 工事請負費	56,800	56,717	31,404			25,313	1
臨時	市道滞迫湯ノ迫線道路改良事業H23完了	改良L=320.0m W=5.0m 工事請負費	67,500	67,135	60,376			6,759	1
臨時	市道南部幹線流末水路改修事業	水路L=511.0m 工事請負費	22,383	21,821				21,821	1
経常	一般管理事業	使用料及び賃借料	19,277	11,855				11,855	2
計			1,066,768	858,691	504,891	257,200	3,206	93,394	

2. 指標設定

成果指標	指標名	市の中心部と全町の生活拠点を結ぶ所要時間の短縮		目標年度	H27	指標の設定理由				
	数値	25分以内				総合計画／後期基本計画において、基本施策(3-1-1)の目標としているため				
活動指標	指標	a	幹線道路の改良率		b		c		d	
	数値	目標	向上		目標		目標		目標	

3. 実績（上段・実績／下段・達成率）

成果指標名	単位	H 2 1	H 2 2	H 2 3
市の中心部と全町の生活拠点を結ぶ所要時間の短縮	分	34 分	30 分	30 分
		73.5 %	83.3 %	83.3 %

活動指標名	単位	H 2 1	H 2 2	H 2 3
a 幹線道路の改良率	%	68.7 % 1.01 前年比	69.2 % 1.01 前年比	69.2 % 1.00 前年比
b				
c				
d				

4. 課題と対応

課題
本市の市道は幅員が狭くカーブが急など改良すべき路線が多い。今後も市民生活道路として都市計画道路など幹線道路と組み合わせた利便性の高い道路網の整備が急務である
対応（改善点等）
市民の日常生活を支え、市民生活に密接な関係にある幹線道路の整備・改良を計画的に進めることで、市の中心部から各町の生活拠点との時間短縮を図ることができる

5. 事業費・・・H 2 1～H 2 3（決算額）、H 2 4（予算現額）

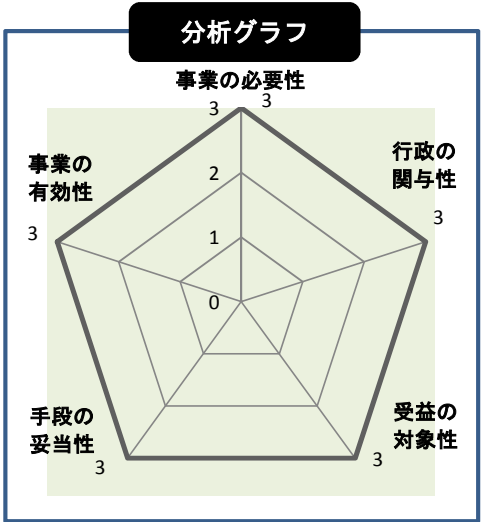
決 算 額（千円）		H21	H22	H23	H24
		842,722	1,003,888	858,691	774,707
うち経常経費		6,669	9,932	11,855	19,510
財源内訳	国 費	516,093	559,575	504,891	489,996
	県 費				
	市 債	270,500	379,500	257,200	244,400
	そ の 他	5,165	2,109	3,206	1,800
	一般財源	50,964	62,704	93,394	38,511
うち経常		6,669	9,932	11,855	19,510
事業費に係る人件費		39,679	41,695	43,516	32,633

6. H25年度予算の方向性

方向性
前年並
理由
道路改良事業は、国(国土交通省所管)の補助を受け実施する事業であり現行制度で推移するため

7. 担当課による分析

着眼点		分析	分析根拠
① 事業の必要性	必要性の再確認	3	市民生活の利便性や産業の活性化を図る
② 行政の関与性	責任領域の精査	3	法令等により、市が実施主体であることが定められている
③ 受益の対象性	事業対象の確認	3	道路を利用する市民
④ 手段の妥当性	活動指標の分析	3	計画的に道路網の整備を実施している
⑤ 事業の有効性	成果指標の判断	3	目標達成率は向上している



8. 内部評価委員会評価（委員会評価）

事業の方向性	評価内容
継続	限られた予算の中で、選択と集中を図りながら、引き続き改良に努めること